

がんばってます！！新大

Vol. 4 号

発行日：平成 19 年 8 月 9 日(木)

発行：新潟大学学生ボランティア本部『ボランち。』 URL：http://www.nuvc.info/ TEL：025-262-7530 Mail：gakuserv@adm.niigata-u.ac.jp

ボランティアとは自分のことができることをすることです。

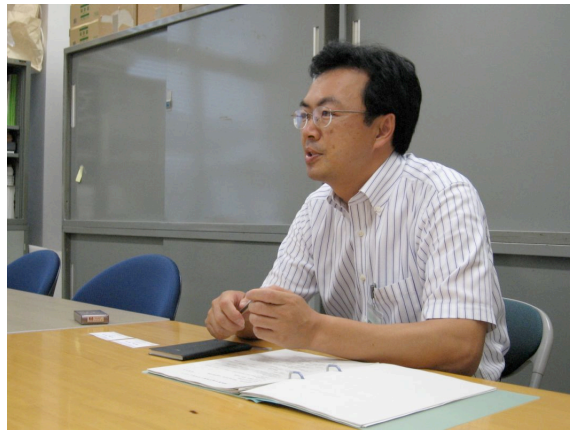
二十三～二十五日に刈羽村で活動された、新潟大学総務部人事課 松岡琢磨係長にお話を伺いました。

○ボランティアセンターでは、どんなことをされたのですか？

7月の、23、24、25日に刈羽村のボランティアセンターで活動をしました。内容は、避難所のニーズ調査、ボランティアの人数調整や割り振り、自動車での人の送迎です。被災地での土地勘が無かったため、自動車の送迎は大変苦労しました。ただ、以前に中越地震で小千谷にいたことがあったのでボランティアセンターでの仕事は多少勝手が分かっていたのでよかったと想います。やはり経験って大事ですね。

○今回の活動を通してどんなことを感じられましたか？

実際にボランティア活動をやってみて、色々な形のボランティアがあるのだな、と感じました。十人のボランティアさんがいれば、十通りのボランティアができる、ということですね。また、自分ができることをすれば、十分に役に立てる、ということを強く感じました。



人事課 松岡琢磨 係長

このやさしい笑顔がトレードマーク！

○最後に、学生や大学に居る人に伝えたいことはどんなことですか？

ボランティアに行く前は、不安そうな顔をしていた学生が、ボランティアを終えた後、みんないい顔をしていますね。大変頼もしいです。また、参加してほしいですね。

ボランティアとは、自分のことができることをすることです。資格のようなものは要りません。ボランティア活動に参加することで、新しい価値観が生まれる。得られるものは多いと思いますよ。決して損をするようなことはありません。ですから、できるだけ多くの学生に行ってきてほしいと思います。

(聞き手)新潟大学学生ボランティア本部

安本典生(理・4) 小林拓実(工・3)

学生ボランティア受付人数

300名突破！

7月17日以降、新潟大学学生ボランティア本部『ボランち。』での、学生ボランティア受付人数が300名を突破しました。

今後も、被災地では学生の力が必要とされます。夏休みに入り心身ともに身軽になったこの時期、被災地でボランティアを行なう絶好の機会だと思います。ご協力宜しく願います。

なお、8月13日(月)～16日(木)まで新潟大学刈羽村VC行きシャトルバスの運行並びに新潟大学学生ボランティア本部『ボランち。』のカウンター業務をお盆の為お休みさせていただきます。ご理解の程、宜しく願います。

【災害ボランティア相談受付カウンター】
新潟大学総合教育研究棟2F 学生談話室内
受付時間…8時30分～18時30分

*土日は12時30分～となります。